

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		地域医療研究補助事業				②事業番号		4205	
③事業類型		7. 負担金・補助金事業		④開始年度		昭和	51 年度	⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	○要綱	計画等	その他	法令等の名称	地域医療研究補助金交付要綱
⑦実施手法		直営	全部委託	一部委託	○補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	4	項	1	目	2	細目	2
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		保健推進課		会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
① 泉佐野泉南医師会		① 泉佐野泉南医師会会員数		人
②		②		
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
泉佐野泉南医師会活動の地域医療研究事業として行っている下記の活動等を一部補助する。 <救急医療・生涯学習等研修> ・航空機事故情報伝達訓練、医療救護活動図上訓練 ・救急隊員との協議会等 ・泉佐野泉南医師会学術講演会(高齢者の糖尿病について・認知症の最新治療) ・泉州胸部レントゲン検討会(マイコプラズマ肺炎・アレルギーについて) ・泉佐野泉南糖尿病病診連携の会(糖尿病・合併症に対する新しい薬物療法)等		① 研修会の回数		回
		②		
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
泉佐野泉南医師会会員の生涯学習の体制を確保し、医療水準の質を担保し、会員のレベルアップを図る。		① 研修会の参加者数		人
		① 計算式		
		② 計算式		
		③ 計算式		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
質の高い医療環境を整備し、地域医療体制の充実を図る。 地元医師会との協力体制を強化し、市民の医療ニーズに応える。		政策(章)	2	みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
		施策大(節)	2	すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします
		施策中	1	医療環境の充実
		施策小	1	地域医療体制の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	泉佐野泉南医師会会員数	人	407	416	394	394	394	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	研修会の回数	回	48	39	38	38	38	
活動指標②								研修会の参加者数は、経年によって増減あり
活動指標③								
成果指標①	研修会の参加者数	人	760	437	510	510	510	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	80	81	77	77	
		直接事業費	千円	749	749	749	749	
		総事業費	千円	829	830	826	826	—
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	829	830	826	826	826	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	地域医療体制の充実には、医師会会員のレベルアップが必要であり、研修制度が望まれたため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	地域医療の充実・発展のため、医師会及び関係市町と協議し調整を図っていく必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	会員がレベルアップをすることは、質の高い医療環境を整備し、地域医療体制の充実につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	地域医療体制の充実を図ることは、市民の健康を守るために、市として支援していく必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地域医療体制の中で質の高い医療を受けることは、市民に求められていることである。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	地域医療体制を支える医師会の活動に影響がでる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	医療機関は整備され、研修会等に積極的な参加がみられる。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	医師会の事業と市事業を連携した事業を開催する、連絡会議を開催する等、互いの現状を理解し合い、有益な事業成果を求めるようにする。市が求める医療体制の充実、医師会側が求める行政の体制を充実できるような体制づくりを築く。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	補助事業の内容等については、今後医師会と関係市町とで協議を行う。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	補助事業であり、受益者負担の考えは適さない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	地域医療体制の充実には、今後も行政の支援及び医師会との協力が不可欠である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

A	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (___ 年まで) エ. 休止 (___ 年から) オ. 廃止 (___ 年から)	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—